

調査日時 2010年 8月 30日

企業訪問 CSR 調査質問票

企業名 第一貨物株式会社 秋田県南支店

住 所 秋田県湯沢市岩崎字壇ノ上5番地（湯沢工業団地内）

業 種 特別積み合せ事業・一般貨物事業 従業員数 62名

01 取り組んでいる社会貢献活動の事例について

①ある

事例 A 事業名および内容

交通安全街頭指導に参加協力

秋田県トラック協会雄平支部単位の取り組みで、交通安全運動期間中、年間2回～3回実施している。



事例 B 事業名および内容

湯沢工業団地内の環境美化活動

湯沢工業団地連絡協議会メンバー企業の協働により実施している。内容は以下の通り。

①団地内公園の草刈り（年1回程度）

②団地内道路・歩道部の清掃作業（年1回程度）

事例 C 事業名および内容

ペットボトルキャップ収集活動（全社的な取り組み）

ペットボトルのキャップを回収し、再資源化することによって二酸化炭素の削減を図るとともに、再資源化による売却益で開発途上国の子供たちにワクチンを贈ることを目的として全従業員によるペットボトルキャップの回収活動を行っている。

事例 D 事業名および内容

アルミ缶・プルタブ収集活動（全社的な取り組み）

アルミ缶・プルタブの回収による売却益で、「車いす」を地方自治体や福祉施設等へ寄贈する活動を行っている。

事例 E 事業名および内容

（財）日本盲導犬協会へ寄付（全社的な取り組み）

社会における盲導犬の理解不足、供給側の人的・経済的支援不足など、盲導犬の育成・普及が困難な状況を踏まえ、第一貨物(株)全社の取組みとして資金協力をしている。

02 今後取り組みたい社会貢献はありますか？それはどんなことですか？

①ある

内容：学校関係の社会科見学、インターンシップ受入れ等、要望があれば対応したいと考えている。

②ない

03 NPO との協働について

1.協働したいNPOがあるか

①ある（どのNPOか。どんなNPOか）

NPO法人エコキャップ推進協会

ペットボトルのキャップの売却益で開発途上国の子供たちにワクチンを贈ることを目的としている。

②ない

2.協働したい分野があるか ある場合には分野に○をしてください。

①ある

1.保健・医療・福祉の増進 2.社会教育の増進 3.まちづくりの推進 4.学術・文化・芸術・スポーツの振興

5.環境の保全 6.災害救援 7.地域安全 8.人権擁護、平和の推進 9.国際協力

10.男女共同参画社会の形成の促進 11.子どもの健全育成 12.情報化社会の発展

13.科学技術の振興 14.経済活動の活性化 15.職業能力の開発・雇用機会の拡充の支援

16.消費者の保護 17.前各号に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言、援助

18.その他（ ）

②ない

3.協働する場合、具体的な事業はあるか

①ある（内容：

②ない

4.NPOから協働の申し出があった場合、協議したいと考えているか

①考えている

②考えていない

04 寄付について

①これまで

湯沢市の花火への協賛、大名行列への協賛、岩崎地区の祭りや各種行事に対して、団地内企業単位ごとに対応していた。

②これから

今年度から工業団地連絡協議会を設立し、寄付協賛金については一元化した形での対応を図っていきたい。

企業理念について

最後に、御社の企業理念がありましたらさし支えない範囲でおしえてください。

(企業理念・経営理念・社是・その他 _____) ←該当するものに○を。別紙添付も可。

【環 境 方 針】

当社は、『社会的秩序の遵守を全てに優先すると共に、その業務が公共の道路を使用することに鑑み、輸送の安全確保と環境の保全に努力する』ことを環境理念とし、以下の活動に継続改善を推進します。

【基 本 方 針】

- 1、法の遵守を全ての活動の最優先とします。
- 2、エコドライブの実践、輸送の効率化、低公害車の導入を通じ、地球温暖化ガスや大気汚染物質の排出を削減し、継続的な地球環境の保全活動を推進します。
- 3、循環型社会を目指し、3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動を積極的に推進します。
- 4、環境マネジメントシステムの有効性をはかるため目標を設定し定期的に評価します。
- 5、環境教育や啓発活動を通じ、従業員及び協力会社に本方針を周知するとともに広く社会に環境情報を開示します。

平成21年4月1日

第一貨物株式会社

専務取締役 営業本部長 降旗 芳夫

対応者	担当部署	秋田県南支店 支店長		
	連絡先	0183-73-6185	お名前	沼倉 寛治
記入者	所属団体	NPO法人 秋田県南NPOセンター	名前	小松田 弘